

様式 2

事業提案書

1. 下記について A4 コピー用紙 2 枚以内で提案してください。(必須事項)

- (1) テーマやコンセプトを簡単に記載してください。
- (2) 施設をどのように改修してどのように利用していくかを記載してください。
- (3) 誰がどのように運営していくか記載してください。
- (4) この提案の利用をすることで、日南町にどのようなよい効果があるか記載してください。

2. 活用イメージのスケッチ等が描ける方は A4 または A3 コピー用紙 1 枚 (様式は任意) で描いてください。提出は任意です。※提供資料の平面図・立面図等へ描き込みをしたものでもかまいません。

この建物のテーマは『古民家水族館ラボ (仮称：オッサンシャイン水族館)』です。

日南町はオオサンショウウオが生息する町として有名で、多くの研究者が町外から調査に訪れますが、その際に研究に打ち込めるような施設がありません。そこで、宿泊機能を備えた研究拠点を整備することを考えました。

この拠点では、オオサンショウウオとそれを取り巻く自然環境の保全及び復元を目指し、調査・研究の推進、学習の支援や人材育成、広報並びに普及啓発等の事業により、生態系の保全と持続可能な社会の構築に寄与することを目的とします。

一方で、研究拠点のみの利用にすると地域に開かれた場所にならず、日南町の活性化が限定的なものになってしまうと考えました。そこで、オオサンショウウオをメインに淡水魚を展示する水族館の整備を提案します。オオサンショウウオは自然環境が豊かな河川にしか生息できず、手つかずの自然が残る町を広く PR する広告塔とすべきだと考えます。この施設では、地域の子供たちや町外の人たちに町に生息する生き物たちを身近に感じてもらうことができ、また、集う場所となることから、地域活性化につながると考えました。

小学校を改修した水族館はありますが、古民家を利用した水族館は珍しいです。広大な家である旧木下家は展示スペースを十分に確保でき、自然と調和する水族館になると考えました。本水族館の特徴として、オオサンショウウオのための大きな水槽や水槽を押し入れの中に入れ、水槽部分の扉をくりぬくことで、趣向を凝らした展示となります。また、実際の川のように見せることができる水槽を設置し、川の中での魚たちの動きを知ることができます。お風呂場にある湯舟や土間の流し台をそのまま水槽として利用することで、人間の生活として利用されていたものが魚のために利用されるユーモアあふれる展示と

なります。

そして、来場した子供たちの学びを提供できる場としても活用できるように考えました。施設を利用する研究者が子供たちに研究の面白さを伝えたり水族館の職員さんが飼育している魚について教えたりします。冬は雪の影響があり池を利用できないため、5月～9月頃は家の中庭にある池を利用して、川魚のつかみ取りができるようにします。時期によってとれる魚は変わっていきます。とった魚はその場で調理して食べることができます。旬を知り、魚を捕る経験を通じて子供たちに食の大切さを知ってもらいます。

さらに、私たちが提案したいのは、大学生による町への参画です。鳥取大学の学生は、地方創生政策体験学習などにより町との関係性を深めてきましたが、そこで町の良さに触れ、もっと町と関わりを持ちたいという学生も出てきています。そこで、授業で一度訪れて終わりではなく継続的な関係を構築するため、大学生によるチャレンジショップやイベント企画などができる拠点としても活用したいと考えます。イベント企画を行えるスペースとして、休憩所等が考えられます。

例えば、町で栽培しているトマトやリンゴ、梨を味わうことのできるジューススタンド（コンビニで設置されているコーヒーマーカーのようなイメージ）を設置して、来場者に味わってもらうことなどが考えられます。イベント等を行う際は大学生が指導しながら町の子供たちにジューススタンドを運営してもらい、町の特産品のPRをしてもらうことで、子供たちに農業や自然について興味をもってもらうこともできます。

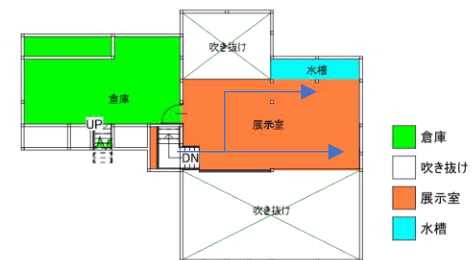
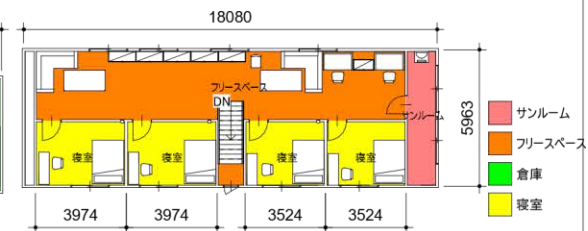
運営手法に関しては、PFI事業の中のRO方式を活用することを提案します。これは民間企業が施設整備、維持管理を行うことで、維持管理がしやすい改修を行うことが可能になります。

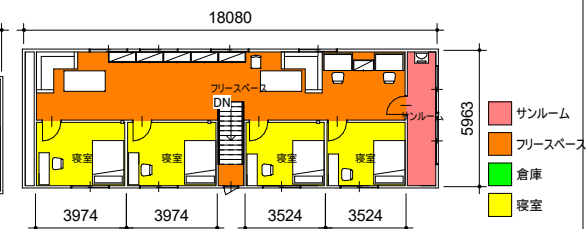
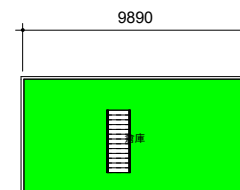
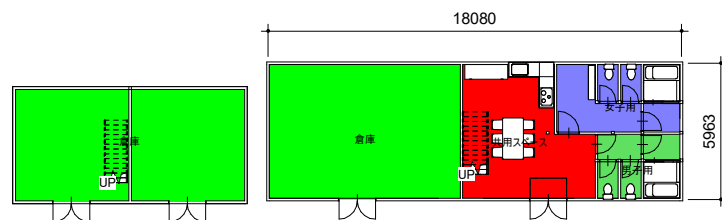
また、事業類型としては、町が民間企業に運営委託料金を支払い、施設利用者も民間企業に使用料金を支払うミックス型で行うことを提案します。独立採算型は、民間企業の負担が大きいため今回の事業に向かないと考えました。

運営を行う民間企業は、町からの委託料と水族館の入館料、飲食スペースやショップの売り上げ、宿泊施設の宿泊代など収入を得て運営を行います。

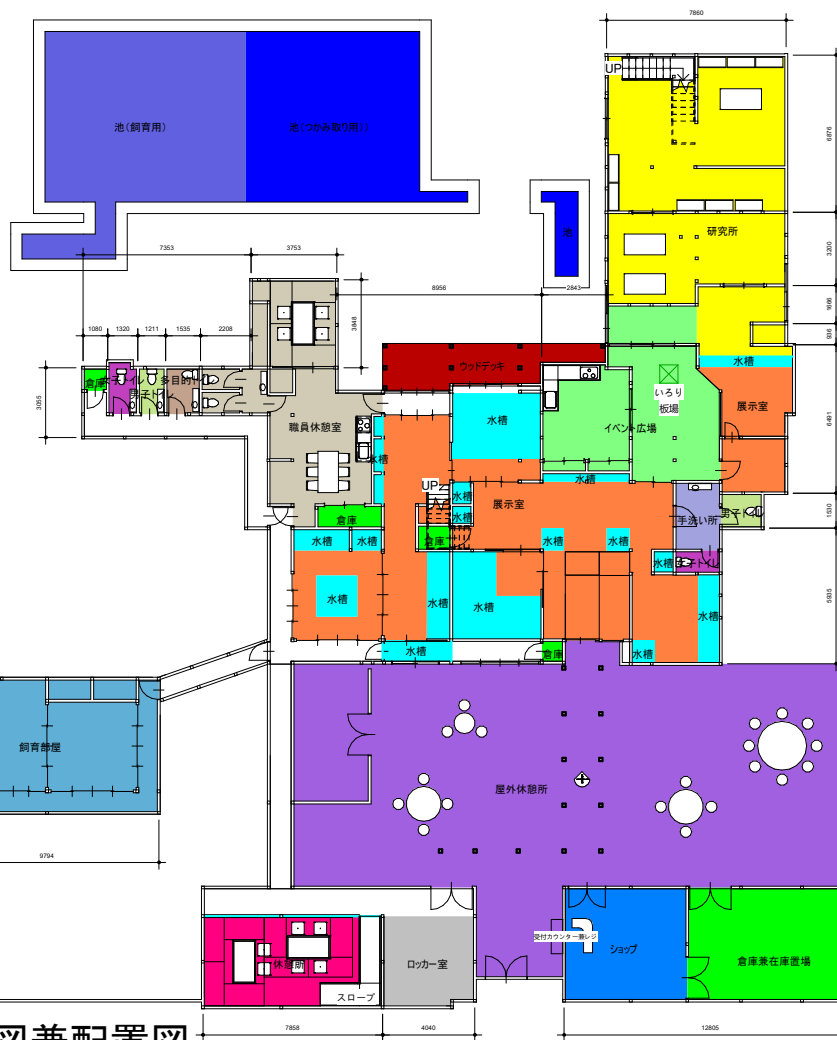
なお、町内在住者には特別料金を設定し、特に子供たちの学びを提供する施設として町の子供たちには入館料を無料にするなどの施策も必要だと考えます。

このように旧木下家を活用して研究機能と観光機能を融合させた拠点を整備することで、子どもや大人、学生や研究者など多様な者が町と関りを持ち、関係人口を増大させることが期待できます。



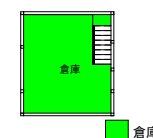


- サンルーム
- フリースペース
- 倉庫
- 寝室



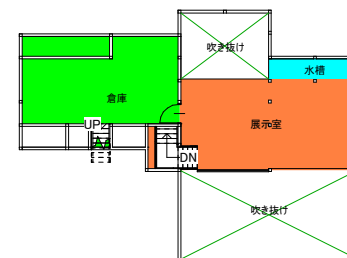
4 蔵2階平面図
1 : 200

- イベント広場
- ウッドデッキ
- ショップ
- ロッカー室
- 休憩所
- 倉庫
- 倉庫兼在庫置場
- 共用スペース
- 多目的トイレ
- 女子トイレ
- 女子用
- 屋外休憩所
- 展示室
- 手洗い所
- 水槽
- 池
- 池(つかみ取り用)
- 池(飼育用)
- 男子トイレ
- 男子用
- 研究所
- 職員休憩室
- 職員用駐車スペース
- 飼育部屋



- 倉庫

3 母屋3階平面図
1 : 200



- 倉庫
- 吹き抜け
- 展示室
- 水槽

2 母屋2階平面図
1 : 200

1 1階平面図兼配置図
1 : 200

